

みなみたね 第3 回定例会



議会だより

第151号

発行
平成27年10月30日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



(▲はつらつクラブ)

平成27年第3回定例会(9月定例会)が9月16日～9月25日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(7名)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～8
- 第5回種子島屋久島議会議員大会開催・・・・・・・・ 9
- 「町民と議員と語る会」報告・・・・・・・・・・・・ 10～11
- 委員長報告(議員報酬及び議員定数等調査特別委員会)・・ 12
- 発議(特別委員会設置決議 2件)・・・・・・・・・・・・ 13
- 賛否が分かれた議案・編集後記・・・・・・・・・・・・ 14

一般質問



河野 浩二 議員

条例公民館制度について

河野 平成25年4月よりスタートした条例公民館制度について町民各位からさまざまな意見が出ていますが、この制度を来年度以降も存続させるつもりかどうか。

教育長 各地区公民館を町が直接管理運営する為に公民館主事と条例公民館長を配置した。維持管理の経費や人件費は町が負担している。活動については館長・主事の立場で各業務に携わっているが、2年半の実績等を踏まえ町公民館連絡協議会や各関係団体の意見を集約し、公民館活動のさらなる充実を図る為、制度の内容を含め見直しの方向で検討してまいりたい。

バイオ苗供給体制について

河野 安納芋は種苗法による種子島独占栽培が昨年度より解禁となった事や「紅はるか」の出現で人気に陰りが出てゐるのではないかと心配されたが杞憂で終わる勢いだ。しかしながら、南種子町においてはバイオ苗の供給体制が大きく遅れているのが現状である。品質と反収増をはかるには梅雨期に入る前の5月下旬までには場への苗の植えつけを終了する必要がある。それには町のバイオ苗セン

ターから遅くとも10月下旬までに次年度の苗を生産者に供給し農家のハウスで増殖しなければならぬ。その体制を一刻でも早く構築できないか。

総合農政課長 挿し苗の供給時期については安納芋の生産安定と収量・品質の確保の観点から10月からの供給を目指さなければならぬ。28年度産は準備の都合で無理だが29年度産よりその体制がとれるよう努力をしていきたい。

河野 現在、町の育苗施設は硬ブラハウス1棟、ビニールハウス2棟である。今後の増産を考える時、不足しているのが現状だ。増設する考えはないか。

町長 既存施設の活用方法などを検証し今後の課題として検討する。

河野 育苗ハウスは3人で運用されている。繁忙期には人員が不足している。挿し苗用の供給時期だけでも増員できないか。

町長 堆肥センター・土壌検査室・そして育苗ハウス施設を一体として捉え、職員体制もそれらの農業施設関係の全般を含めた形で運用できないか検討したい。

河野 南種子町には土壌診断の施設があり専門の職員も配置されている。消費者の「食の安心・安全」への関心も高く今後一層充実しなければならぬ施策だと思うが、どのように進めていくのか。

総合農政課長 年間600点ほどの診断を行っており認証制度関係で今後益々ふえる状況。農業振興の基礎となる所なので充実させて行きたい。

ふるさと納税について

河野 ふるさと納税は平成20年度に始まった「ふるさと応援寄付金」だが、寄付をされる方に税制上のメリットがある事や地方の特産品を手に入れられるという事で全国的にブームとなつてゐる。本町のこれまでの実績と返礼品には何を送品しているのか。

町長 21年度が123万円、23年度が111万円、その他の年度は50万円以内で推移している。本年度は9月15日現在で741万円で大幅に伸びた。これは今年4月から返礼品として安納芋や米・宇宙食及び海の幸の贈呈を開始した事で寄付件数が伸びた事による。

河野 地方の自治体にとつて、これほど有難い制度はない。今後、各自治体の広報合戦とアイデア勝負となるが、どのような施策を考えているか。

町長 9月からはネット会社との提携やクレジット決済ができるヤフー公金支払いの活用を図っている。今後は出郷者へのPR活動や特産品の選定、南種子町の魅力を体験してもらふ独自の返礼品を検討するなど積極的に進める。

宇宙芸術祭について

河野 種子島宇宙芸術祭の概要を示せ。

町長 2012に本町においてプレイベントが始まり第1回目の本祭は2017年に種子島全島での開催を予定している。JAXAや三菱重工の支援をいただき宇宙の島「種子島」を全国に発信して行きたい。現在は商工会と観光課で業務に当たっているが、今後は種子島宇宙芸術祭推進協議会を中心として広報活動や事務所の設置をして中種子町・西之表市との連携を強めながら種子島全島での地域起こしイベントとして行きたい。



上園 和信 議員

農業施設の運営について

上園 キャトルセンターは、平成22年4月22日に業務開始して開設5年目になる。建設計画では、子牛常時200頭年間400頭、成牛は20から25頭を受け入れ、子牛の生産性向上と畜産振興、農家所得向上に繋げるとの経営方針であり、議会に示した内容です。オープン時から赤字続きで、改善の兆しが一向に見えない状況にあり、厳しい経営環境下に置かれているようです。平成26年度経営実績を示

せ。

総合農政課長 受入れ頭数26年度実績で271頭、前年度対比で43頭増。飼育頭数372頭、前年度対比で39頭増。セリ出荷頭数281頭で前年度比49頭増。預託農家は27戸で前年度より3戸増。

運営収支状況は、預託費等収入は1917万5614円、人件費や飼料費等支出は2492万88円差引574万4474円の赤字となった。

職員は正規職員1人で堆肥センター現場責任者業務、

畜産関係の行政事務も担当、契約職員2人です。

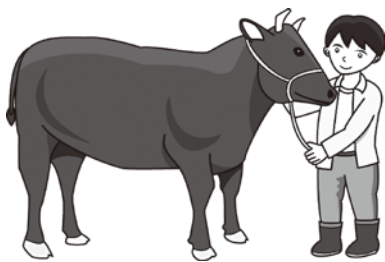
上園 次に堆肥センターは、平成22年10月から業務開始。総事業費4億円超をかけた建設し、優良堆肥の製造、農用地の地力増進と土壌改良のための堆肥製品の供給を進め、農産物の生産性を高めるための方針でありました。この施設も目的どおりの経営には程遠い状態にあるようです。

平成26年度経営実績を示

上園 当初の計画が甘かったことになるのじゃないかと思っています。キャトルセンターに

は専門の職員を配置し、飼料は栄養価の高い濃厚飼料を与え、利用料も1日500円。それにも拘わらず預託頭数が思うように伸びない。両施設当初計画どおり経営を軌道にのせ、畜産の振興と農業の推進、農産物の生産性を高め、農家所得の向上に繋げていく。本腰を入れ取組んでいくことについて、町長の所信を。

町長 結果から言うところ今議員ご指摘のとおりです。肝に銘じてこれを立て直します。



公立種子島病院の診療体制について

上園 公立種子島病院の現在の外来診療体制、午前中診療で午後休診とお聞きしますが。

町長 おっしゃるとおりです。現状はそうだとのことです。

上園 8月3日から午前診療に入ってる。困っているのは町民であります。小原俊一医師が10月1日から着任し、診療に当たるということをお聞きします。

小原医師着任と同時に10月1日から通常診療体制に戻すことについて、町長はどう考えるか。

町長 10月には3人の先生でスタートするので、その意見も踏まえながら、今後対応していく必要があると、こう考えているところです。



大崎 照男 議員

荃永農地整備事業について

大崎 荃永農地整備事業については難題が多く、農地整備がされないと言う事は、非常に残念な至りです。中でも一番の不便な点は、用排水路整備が十分になされていないことから、用水路整備事業を早急に実施をしていただきたい。

町長 農業経営の効率化と安定化を確保するため、県農政部農地整備課長へ、荃永地域へ水田地帯の事業実施の地元負担率の軽減について強く要望したところであります。県の回答は、平成28年度より実施設計、平成29年度事業採択で進んでいるとの回答を得たところでございます。

馬毛島移設問題について

大崎 米軍基地馬毛島移設問題対策協議会を離脱決議をしました。住民へのメリット、デメリットを正確に伝え、正しい情報を提供するために、議会は離脱することを決意したわけです。執行部はこのことについて、どのように取り組んでいくのか。

町長 防衛省が馬毛島調査費の入札公告を実施する動きが出てきたと認識しており、直接防衛庁に、お話を聞く予定にしており住民の意見もきちんと踏まえた上で判断し

ます。

条例公民館について

大崎 今後の条例公民館制度についての方針は。

町長 条例公民館制度の移行に関しては、見直しながら、継続をしていく。

学校教育問題について

大崎 全国学力テストで鹿児島県中学校平均届かず、このことについて南種子町執行部の考えは。

教育長 南種子町においては、宇宙のまち教育振興基本計画に沿って、30の施策を設けて教育行政を進め、学力の向上については、学力の実態把握に基づき、個に応じた学習指導の充実、学業指導の充実など、確かな学力を定着させるようにしている。

観光振興について

大崎 高速船の島間港寄港観光ルートで、運行业社との交渉と港湾設備について進行中か、実現がかなえそうか。

町長 種子島観光振興のため、屋久島ルート的高速船

就航は必要、議会の協力も得ながら、要請活動は続けていきたい。

町内に宿泊する観光ルートの設定について

大崎 宇宙の町の看板を掲げ、観光目玉スポットが、相次いで開設されたにもかかわらず、観光客は、ピークだった2003年度の4割以下にまで、落ち込んだと聞いております。これに因んで、種子島屋久島ツアーの観光客を素通りでなくして、南種子町内での滞在時間を延ばし、町内の物産消費とホテル、旅館の宿泊客の増加につなげる工夫をしていただきたい。

町長 本町自慢の観光資源を活用し、前向きに進めていきたい。

大崎 竹崎海水浴場が現在閉鎖中です。再開すると観光拡充に大いにつながります。再開できないか。

町長 漁港の設備が進み海底が急傾斜となり、大変危険であることから、現段階では非常に不可能です。

観光課長 海岸の堆積状況調査は今後も進めてまいります。改善されることがございましたら、関係者の御意見を伺うなどして、再開へ向けてい

きたい。

公立種子島病院について

大崎 今後の対策と運営方針について

町長 今後どうすると言うのは今言えない状態であり、事務局それからスタッフ全体でこの病院をどうするのかという私が注文を幾分して、協議をし、病院の副管理者である副町長と事務長と一生懸命頑張っております。

大崎 診療拡充と医療の質を高めなければなりません。まずは医師の安定確保、MRIを導入してもらえないか。

町長 MRIを設置する部屋はありますが、大変な高額な問題で、現在のところ考える余地はない。

農林水産業の振興について

大崎 農産物の向上、農民の所得向上について、今後の方針は。

町長 農業振興策については、現状の分析が非常に重要である。



塩釜 俊朗 議員

防犯対策について

塩釜 鹿児島県警察が地域の駐在所の統合が計画されてから数年過ぎている。このまま存続してほしいという要望もありましたが、結果的には町内4ヶ所の駐在所が廃止され、南種子交番に統合することになった。運用開始は29年3月頃というが、南種子交番の設置場所の計画又内容については、議会にも説明がありました。その後の協議において町立中平中学校跡地に決定したのか、どの程度まで造成して貸し付けるのか。

町長 中平中学校跡地に設置する方向で種子島警察署と現場立会いのもと、協議を行って、一応決定した。西側及び南側へのフェンスを撤去して西側の歩道の幅員を広くし盛土をし、整地をして対応するという計画でございます。

塩釜 南種子町に立地する4つの駐在所の自宅の活用でございます。各地域の要望としては、地元に住んでいただき上中交番に勤務してほしいという声もあるわけですが、町としての程度まで警察との協議をしているのか、また今後の利活用についてはどのような話し合いのもとにお

いて町民が理解ができるような協議をしているのか。

町長 この問題については、基本的には4ヶ所の駐在所にはしばらくは住ませるといふのを言っていたわけでございますが、これは間違いなくそうすると思います。住んでほしいという思いとしては伝えたいと思っています。

塩釜 4ヶ所の駐在所が上中に統合されることにより、地域の皆さんは少なくとも不安になるのではないのでしょうか。このような状況の中に、空き巣、振り込み詐欺の電話、高齢者を狙った訪問販売等があると聞く、事前の抑止力となり得る広報活動等をするために、防犯指導員を設置できないか。

町長 いい提案だと思えます。警察のほうとも協議しながら対応してまいりたいと思います。

防災対策について

塩釜 南種子町では町防災行政無線、デジタル化の整備の中で、サービス規約15項

目程度あると伺っておりますが、その規約内での災害事前情報等のエリアメールの発信はできないか。

総務課長 運用開始以降これまでの大雨や台風などの災害等において発信できる情報はなかった。利用規約に定めている内容の災害が生じた場合は、エリアメールなどの緊急速報メールを利用した情報発信を行ってまいりたい。

ロケット打ち上げ後の対策について

塩釜 白色粉が飛来し、屋根、車、花木類、太陽光等にも積もったと聞くが対策は。

町長 JAXAとしましては、平山地区全戸を訪問して御迷惑をおかけした旨を説明して回ったと報告を受けております。9月中には事前の説明会を開催し集落の公民館長及び漁業者の浦長を集めて今回のアルミナ降下についての説明会も実施する予定、又今回以降露地作物等への被害が発生した場合の対応については、その対応策の作成をJAXAに依頼している。

塩釜 アルミナという白色粉を吸ったらどうなるのか。

企画課長 アルミナについては無害で人体には影響はないとJAXAからは聞いています。

宇宙の町にふさわしい情報通信整備を推進すべきではないか

塩釜 国は27年度をめどに、全世帯に超高速ブロードバンドの利用が、可能になるよう「光の道」構想の実現に組んでいる。

県下の高速ブロードバンド整備市町村が、35市町村、そのうち全域普及は13市町とのことである。

医療・福祉・教育・家庭など有効な活用がされます。要望もあります。

町長 高速ブロードバンド「光ケーブル」の設置について町長の考えは。

町長 財政、特に総務課が予算を立てないと議会に説明できませんので、計画としてまとめる方向で進めている。

公立種子島病院の現状と 今後の運用について



柳田 博 議員

柳田 現在種子島公立病院は午前中の診療体制であり、医師の招聘と午後の診療を1日でも早く、いや1分1秒でも早く体制が出来ないか。

町長 10月より1名11月より1名2名の医師の確保が出来た。全国医師不足であることは、二つ返も無く政治絡みで医師の招聘は出来ない。中種子町長共々、病院協議会の議員の方々とも一致協力して病院を立て直す。

柳田 町長公約に優秀なスタッフを揃え最良の医療を提供する。病院の経営状況が悪いなりに共同体でも有る中種子町にも全面的に患者の招致も頂きながら優秀なスタッフを揃え、地域医療体制を確実なものにできないか。

町長 中種子町長・議長を含んで協議しており医者確保する。

経営改善のためにも15対1の看護体制を7対1にする。資格も取得して頂き現在のスタッフがきちんとやっという事を心掛けて行く。

柳田 病院内の正職員と契約(パートを含む)職員との格差は正について、給与・福利厚生・休暇取得など様々である。その職層で経験や努力・真面目さは報われなければならぬ。医師や看護師は特殊な勤務体制で有り、業務では昼夜を問わず診療や看護に従事されている。このような業種では絶対に格差はあつてはならないと思うが

町長 格差がない職場でないといけないと思う。職員一体の中で、すべてをスムーズに行くような形に変えなければいけない。

柳田 幼児持ちの看護師・事務職員の託児所が、9月より受入れ出来ない旨の通達があり、この様な対応では、反少子化や優秀なスタッフ女性の働く場の喪失になると思うが。

町長 副管理者で有る副町長・院長・事務長で検討をして参りたい。

信号機の設置について

柳田 本町交差点朝夕の時間帯は勤め人の車両や児童・生徒・買い物客の往来が増え、高齢者やPTA会員・乳幼児を持たれた方々の強い要望です。信号機の設置は。

町長 これまで信号機の設置要望をしているが、再度警察署に強く要望をしたい。

町道の拡幅工事について

柳田 長谷小平山集落から県道58号線に繋ぐ町道の拡幅工事の要望について、狭い所は4m程度しかなく、1日5本のスクールバス・コミュニティバスの往来で非常に危険である。町道に格上げするか。狭いカーブだけでも拡幅工事が出来ないか。

町長 県単事業で舗装整備保全対策事業として採択を受けている。農道保全対策事業を活用した整備を計画的にしてい。狭い部分について

では現状を確認した上で改修を実施したい。

公衆トイレについて

柳田 公衆トイレは、障害者用のニーズに合っていない。ニーズに合った障害者用トイレに改修して頂きたい。また乳幼児のオムツを替える台等もない。

町長 調査し建築士とも協議もする中で、改修も出来るだけ早い時期に対応していきたい。

商店街道路について

柳田 上中の商店街の道路。車椅子・乳幼児の乳母車・高齢者にとつて陥没や段差等で通行に危険。早々な対応を。

町長 上中の商店街道路は(通り会)の方で町費で今年度、整備を実施予定で有り、引き続き実施したい。



日高 澄夫 議員

町道上部の木の枝伐採を

町道・農道の管理について

日高 平山・島間・西海から要望がありました樹木の枝が、町道を覆っている。ダンブや大型自動車が中央線をはみ出して走っている。

非常に危ない目にあつた。何とかならないかということでした。

もちろん路肩の除草は必要ですが手の届かないところは後まわしにしているのも、何とかしてください。

建設課長 道路法に基づく安全確保を行い、事故が発生しない環境整備をするために、隣接所有者に定期的に伐採の要請。場合によっては伐採の了解を取りつける工夫をしていく必要があると思います。

日高 公道の上部を覆っている樹木の枝を切るのに法律はどうなっていますか。規制をしているのでしょうか。

建設課長 弁護士との指導

を受けました。議員が言うように、町道、農道の公道においても法律の規制があつて、勝手に道路管理者が覆いかぶさっている枝を伐採できないようです。道路を覆いかぶさっている樹木の所有者に伐採をお願いする。許可をもらつて道路管理者が伐採して通行に危険な状況を廃除してまいりたいと思います。

国保事業について

日高 最近テレビなんかで、健康寿命を伸ばそうという番組が増えていきます。

上之平老人部は、町にお願いして今年も健康講話と体操で2時間楽しみました。

町の職員、正規職員、非正規職員を問わず、みんな頑張っています。

そこで、健康寿命を伸ばす対策、町民全体の健康保持のために、職員は日常業務の中で高齢者、町民とどの位の頻度で接しているのでしょうか。

保健福祉課長 職員が集

落や高齢者宅に向く頻度ですが、保健師と包括センターの職員が平日はほとんど毎日訪問しています。

日高 平成25年度市町村

別国保医療費マップについて、このポスターが公立病院の柱に張つてあつた、南種子町の医療費が熊毛内ではいちばん高い。なぜだろうと思つた。

メタボ検診の集団検診についても質問した。医療費の抑制や集団検診率はどうなっているのでしょうか。

保健福祉課長 医療費

マップですが、南種子は熊毛地区内で一番高いです。

ただ県下43市町村中、南種子31番目、屋久島町32番目、西之表市33番目、中種子町35番目です。

南種子町の平成26年度医療費は若干下がっています。

1人当たり年間医療費の県平均は38万1547円です。

南種子町の一人当たり医療費が中種子町並みになると、およそ5000万円医療費が減となります。

保険者負担では3500万円程度抑制される見込みです。一段と啓発を図ってまいりたいと思います。

西海地区で高齢者サロンが地区公民館で開かれています。

笑いあり、カラオケあります。内容をしっかり学んで全地区で実施できるよう話し合っていきたいと思っています。

特定健診を忙しい中60%に近づけるために個別啓発活動に取り組みたいと思っています。



町財政について



西園 茂 議員

西園 本町の今後の運営について、町財政は厳しい財政です。町民にもうけがなから生活ができない、だから、本町から人が出て行きます。平成26年度の町財政指標の数値についてどう思うか。

町長 町財政健全化基準は適正な水準を保持し、健全な財政運営ができています。しかし、基金が10億円程度減少している。将来の人口減少に伴う財政運営が非常に重要であると認識している。

西園 梶原町政の4年間の評価で、一般会計が実質単年度収支で4年間連続の赤字でした、全く計画性がありません。

又、目的を逸脱した上中下中線・目的が明確でない標示石・計画性のないトンミール館・ロケット打ち上げ時に見れない広田遺跡館・誰のための太陽光発電・年に数回しか使われない施設など、税金の無駄遣い・後世代の負担になる投資の数々でした。本当に多数決の恐さを感じました。結果、実質公債比率・将来負担比率が上がっています。

又、監査指摘では「入札制限価格の設定で失格者が多数散見されるので、一般財源の無駄をなくし、効率的な財政運営に努めること」との指摘もあります。

私は、梶原町政をストップできたことでホットしていますが、町長の考えは、

町長 議会の議決で各種事業が実施されてきたが、管理運営面では、多々問題があると思います。

私はよく検討して、改善の方策をとりたい。

西園 こんな本町の財政状況の中、多くの町民の生活苦、人口減少・高齢化が進む中、抜本的な改革として、人材育成・公設民営による町内経済循環の確立と経済規模の拡大・公営事業、業務の民間委託を進める考えはないか。

か。

町長 長期振興計画を進めるなかで、当然人材育成は必要ですし、職員だけではなく広く外部の意見を聞いて対応したい。

人材育成について

西園 宇宙飛行士油井さんの宇宙からのメッセージの内容は「小さな地球で人々が争い、水や大気を汚染することとは非常に恥ずべき事だ」でした。実的に確に現実を捉えています。

現在、こんな人材が南種子町には必要だと考えます。広い視野に立つて大局的に物事を見る人材が必要です。

そして、又先見性のある人材・経営力のある人材・行動力のある人材が必要です。よつて、町民を対象とした海外研修による人材育成を公費で実施する考えはないか。

町長 非常に大事なことだと考えます。職員にその成果と現在の考え方を整理させております、今後の研修の方向に繋がりたい。

道路の除草作業について

西園 道路が荒れています。県道・町道・農道・観光地の一定の整備をするとして、何回の草刈りで金額ベースでどのくらいかかるのか、又今後の対策はあるのか。

建設課長 平成27年度は、金額ベースで道路・農道・観光地の維持管理費で5439万2000円の予算です。地域のボランティア作業も含めて、年2回の除草作業で1億円程度かかると試算しています。

町長 次年度より直営でやっている部分も業者委託を検討したい。

第五回種子島屋久島議会議員 大会を開催

要望事項5件を採択

平成27年10月6日(火)第5回種子島屋久島議会議員大会が南種子町で開催されました。

以前は、種子島の一市二町の議会議員大会と熊毛郡の町議会議員大会がそれぞれ開催されていたが、平成22年度から、それぞれの大会をまとめて種子島屋久島議会議員大会として開催している。

この大会は、熊毛選出の県議会議員や各市町の首長や一市三町の議会議員全員が一同に会し開催される。

それぞれの町の課題や熊毛地域の共通の課題等について



協議し、全体でその課題について確認し、参加者全員で共通認識を持つことを目的としている。

今回の大会では、各市町からの提出議題として4件。

共同提出議題として1件の計5件が提案され、それぞれ全会一致で採択されました。

採択された事項

- ① 農林水産業対策について。
 - 野生生物による農林水産物被害防止について。
 - サトウキビ増産に向けた取り組みについて。
- ② 県道「西之表南種子線」の整備促進について。
- ③ 島間港の整備促進について。
- ④ 屋久島空港滑走路延伸の早期実現について。
- ⑤ 離島航路の交通対策等の強化について。
 - 人の往来及び物資の流通に要する経費の低廉化に資する施策の積極的な実施。
 - 離島活性化交付金の適用期間の弾力的な運用。
 - 離島航路就航船建造に伴う国庫負担制度の拡充。



- 離島航路、航空路の支援に係る法律の早急な制定。
- 「離島ガソリン流通コスト支援事業の継続とガソリン以外の石油製品の海上輸送に対する支援の創設と価格は正のための施策の推進。

本大会で採択された5件の事項については、今後県当局に対し一市三町の議会議員が直接要望活動を行うとともに、県議会に対しては、本大会の会長名で陳情書を提出することとしている。

町民と議員と語る会報告

去る8月18日から22日までの4日間町民と議員と語る会を実施し、8地区合計72名の出席をいただきました。

町民の意見、要望等、町当局に左記の通り申し入れを行いましたので報告いたします。

尚、紙面の都合により全部は載せられませんので御理解下さい。

①各地区・集落からの要望事項に対し、すぐ対応できる体制と予算枠の確保を。(要望事項に対する、その後の対応状況についての回答を。)

②道路の整備及び河川管理について。(県道を含む)

●町内の基幹道路が荒れている。

●ガードレールが錆びて腐食している。

●観光地点標示石が見えない。

●路肩決壊の危険性がある。

●交通事故の可能性が高い。

●有尾精脱前の側溝が小さく水はけが悪い。歩道が通れない。

●郡原線の舗装整備。

●町道浜田入口の土砂の取り除き。

●町道夏田郡原線路面舗装工事。

●県道下中地区の歩道の草刈り。

●郡川堤防の舗装。

③農道整備について

●上立石地区の農道は、側溝

がなく、大雨になると畑に土砂が流れ込む。

●長谷地区農道の整備。(耕作者は南種子の住民だが、中種子地区の農道)

●大曲の農道整備。(古市牛舎・笹本宅)

④ふる里納税について

●ふる里納税について力を入れてほしい。本町はPR不足ではないか。

⑤条例公民館制度について

●地区公民館長の負担軽減のため、役職員での業務分担の指導をすべきではないか。

●地区公民館の備品について、町と地区との線引きが十分されていないのではないか。

●自然の家について、地区公民館との区別、区分けが十分なされていない。また、主事の業務と自然の家管理人の業務の内容の明確化を。

⑥医療について

●費用対効果を考えて、主事に町広報紙の配布、住民票や印鑑証明の発行、税金の収納対策等を担ってもらうことで主事を推薦した。現在の状況であれば、主事はやめて直接支援交付金のような形で対応するのがベストではないか。(主事の待遇面も考慮すべき)

・公立病院の午前中の診療体制はいつまでか。首長、議会、町民一体となつて医師の確保をすべきではないか。



下中地区



茎永地区



上中地区



西海地区



西之地区



長谷地区



島間地区



平山地区

●産婦人科医院内に小児科を併設できないか。

●外来診療（予約・受付）の改善はできないか。

⑦宇宙留学制度・教育関係について

●消費税も上がり里親の負担が厳しくなっている。はたからはお金のためにやっているとも言われる。受け入れを決定する際、面接をやってもいい。現状では複式解消は無理。

●南種子中学校スクールバス停の整備を。

●金管バンドが老朽化している。教育委員会の調査もあったがどうなったのか。

⑧防災・防犯対策について

●防災訓練について、平山・荃永・下中・西之・西海・島間は津波被害が予想される。平山には「フリージア」の施設もあり、入所者の移送対応等の訓練や校区毎でなく、全町的な訓練が必要ではないか。

●阿多羅経、崖の防災工事の実施を。

●各避難所に、寝具だけでも準備できないか。

●防犯灯の点検整備を。

⑨観光・移住関係

●島間港を整備して、高速船の寄港だけでなく、大型客船の誘致はしないのか。

●ロケット打ち上げ関係者の宿泊で、急に来島が決まり宿泊施設が満室で宿泊できない場合がある。空家・公民館等に宿泊できる対策はないか。

●観光地に案内所がない。お金を落とす場所がない。土産物を買える場所を造るべき。

●島民自ら観光に力を注ぎPRすることが大切。

●ロケットコンテストのPRとまだまだ地元が支援すべきではないか。

⑩保育の入所について

●第2子を出産したら、母親が仕事に復帰するまで第1子を預かってもらえないので困る。子供を育てやすい環境をつくってほしい。

⑪その他

●真所地区の排水対策・管理について。

●西之公営住宅の環境整備について。

●「雪の子」公園の遊具の点検・整備を。

●荃永の岡崎橋から月見橋までの河川改修を。

陳情審査報告

議員報酬及び議員定数等調査特別委員会

委員長 上園 和信

議員報酬及び議員定数等調査特別委員会に付託されておりました陳情第3号「議員報酬の減額及び議員定数15名への増等に関する」陳情審査の経過と結果を報告します。

陳情者は、南種子町中之下1919番地137岩坪巖氏です。

平成27年6月25日、当特別委員会は委員全員が出席して、議会第一委員会室で委員会を開き、提出者岩坪巖氏に出席を要請し、陳情の趣旨説明を求めました。

報酬の件では、議員の皆さんも町民から議員報酬が高すぎるとの声を耳が痛くなるほど聞かされたと思う。

本町の町民は1カ月間汗水流しても20万円を超す月収を得ている人は一部の人の

ちです。定例会と臨時会の日数は過年度分で25日間になっており、日当に換算すると何と12万円となる。

また、町民のために働きますと約束して当選したのに、集落や支持者に対しても何の話もしてくれない。議会が終わるとすぐに農作業や自分のためのことを優先し、報酬に頼って生活をしている。そう思える議員がいる。

議員定数増については、議員定数を15名に改正し、8名を小学校区代表として地区公民館長兼務とし、7名を町全体から選挙によって選ぶこととする。

町民の声を代弁する口数は多い方がよく、小さな校区にも光を当てることは大事であり、選挙区を設けることは法律上可能。との説明。

質疑に入り、「公民館長に議員を兼務してもらう趣旨は」。

「各校区の公民館の人たちが、あなたが公民館長と兼務してくれるのであれば私たちの校区から議員に当選させましょう。というのが本来のやり方、条例で決めることが可能だということであれば話は別」。「この陳情が議会で否決されたときは住民運動によって実現を図るとの文言。議会を脅すような陳情でよいのか」。「署名運動をして回ったときそういう意見が結構あった。議会が採択してくれなかったら、住民パワーで解散を求める運動をおこそうじやないか。解散までいなくても、この陳情を採択してもらうように運動しようじやないかというのが目的」。などの質疑応答であります。

審査のまとめに入り、本日決定するか、継続審査とするかを委員に諮ったところ、「議員報酬減」と「議員定数増」は

切り離し、「議員報酬10%削減することとし、7月1日から実施」。「議員定数15名増」については、継続審査とする方が適當ではないか、との意見も出しましたが、一括で取扱い、継続審査と決定した。

平成27年7月28日、全員が出席し議会第一委員会室で委員会を開きました。

委員会には、陳情書に「選挙区の設定」と「議会で否決されたときは住民運動によって実現を図る」との文言があることから、選挙管理委員会委員長、事務局長、書記が出席。必要条項の説明を求めました。

説明では、公職選挙法第15条第6項に「市町村は、特に必要があるときは、その議会の議員の選挙につき、条例で選挙区を設けることができる」と規定されているので、選挙区の設定は可能と考える。

しかし、選挙区を設ける場合は、行政区、衆議院(小選挙区選出)議員の選挙区、地勢、

交通等の事情を総合的に考慮して合理的に行わなければならない。と規定されており、この規定も踏まえ、「特に必要があるとき」に該当するかの判断が必要になってくる。

議会議員選挙後1年間は解散請求はできない。とのこと。

次に選挙区を設けている愛媛県上島町、岐阜県掛斐川町 の状況説明が議会事務局長からあり、両町とも次の選挙に向け選挙区の取扱いについて検討中との報告であった。

説明を終わり、質疑に入りましたが質疑もなく。討論もなく。採決に入り、採決は起立により行った。

採決の結果、陳情第3号「議員報酬の減額及び議員定数15名への増等に関する」陳情は、不採択とすべきものと決定しました。

発議

馬毛島移設問題調査 特別委員会設置に 関する決議

発議者 立石 靖夫

本町議会は平成23年、第2
回定例会において、陸上空母

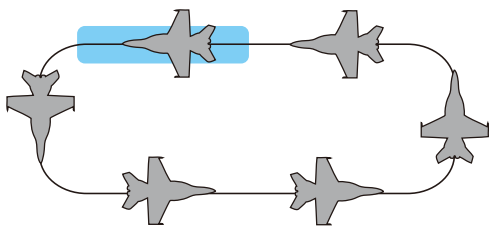
着陸訓練施設の馬毛島への移
設に反対する決議を全会一致
で議決したが、町民からの意
見として、町民に説明不足と
の声が多く聞かれたことから、
反対ありきの反対ではな
く、今後正確な情報を収集
し、種子島・南種子町の将来
にどのようなメリット・デメ
リットがあるのか調査し、町
民に正確に伝へ、町民の意思
決定を判断させることが議員
として責務であることを考
え、平成27年第2回定例会に
おいて、「米軍基地等馬毛島
移設問題対策協議会」から離
脱を決議したことは議会だよ

り、第150号で報告したと
おりであります。

平成27年第3回定例会に
おいて、発議第8号、馬毛島
移設問題調査特別委員会を
地方自治法第109条及び
委員会条例第5条により発
議し、採決の結果、起立多数に
より決議した。

今後、南種子町議会は公正
中立な立場で、関係機関等の
説明を受けながら、議会独自
の調査、研究を行い町民に正
しい情報を提供してまいりま
す。

FCLPのイメージ



地方創生調査特別 委員会を設置

発議者 西園 茂

平成27年9月定例会で地
方創生調査特別委員会が設
置されました。

目的

町民の生活の安定・町民の
生きがいづくりです。

町内各地域では、ますます
集落の機能が低下し、人間生
活の基盤が損なわれていきま
す。国の事業を利用し生産規
模・経済規模の拡大を図り、
町民生活の向上・集落の再
生等、本町活性化のための事
業を町行政に提言し、町民の
生活の安定を図ります。

町民の生活が豊かになり、
本町を財政的にも社会的にも
維持・発展させることであり
ます。

経過

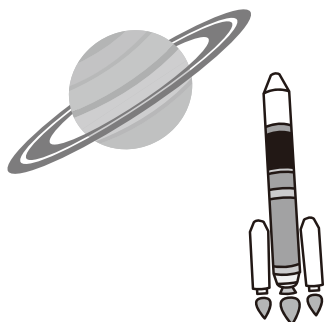
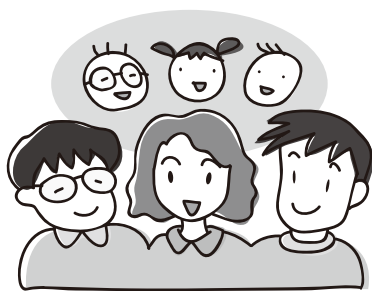
国内多くの地方自治体で人
口減少が続いています。平成
26年5月、日本創生会議人口
減少問題検討分科会が発表
した「ストップ少子化・地方
元気戦略」の中で、2040
年に20～39歳の若年女性の人
口が5割以上減少する市町
村は896(全体の49.8%)
に達し、多くの地域は消滅す
ると発表している。当然消滅
する町として南種子町も含ま
れている。

この事を受けて、国は、ま
ち・ひと・しごと創生法(平
成26年法律第136号)を制
定した。

同法の目的は「我が国にお
ける急速な少子高齢化の進展
に的確に対応し、人口減少の
歯止めをかけるとともに、東
京圏への人口の過度の集中を
是正し、それぞれの地域で、住
み良い環境を確保して、将来
にわたって活力ある社会を維
持していくため」とある。

すでに平成27年3月に本町
にも地域戦略事業として、4
500万円程度予算化され、
「宇宙の町戦略事業」として執
行中である。

特別委員会としても町民の
豊かさを追求する観点から調
査し執行部に提言したい。



賛否が分かれた議案（○は賛成、×は反対、△は除斥）

平成27年第3回定例会（9月16日～9月25日）

(議案名)	(議員氏名)									
	河野 浩二	柳田 博	大崎 照男	西園 茂	塩釜 俊朗	広浜 喜一郎	上園 和信	立石 靖夫	日高 澄夫	小園 實重
議案第8号 馬毛島移設問題調査特別委員会の設置について	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議長職
その他、条例案件3件・事件案件1件・予算案件5件・決議1件は全会一致で可決 陳情第3号「議員報酬の減額及び議員定数15名への増等に関する陳情」については全会一致で不採択										

団体募集

議員との意見交換会

南種子町議会では、政策提案機能の強化及び拡大を図るため、意見交換会を開催いたします。

次のとおり希望する団体を募集いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○対象
各種団体等

○意見交換の内容
あらかじめ提出していただいたテーマに基づき実施。

なお、時間は1時間から1時間30分程度。

○開催時間・場所
できるだけ各団体の要望する時間・場所で開催できるよう調整いたします。

○参加する議員
意見交換する内容等に応じ検討いたします。

○その他
具体的な実施方法等については希望団体と協議し決定いたします。

○問合せ及び申込み先
南種子町議会事務局
電話 ②6 1111(内線280)

編集後記

「まち・ひと・しごと創生」

国、地方で重要政策と位置付けられている地方創生事業。

南種子町は今年度中に、産業の振興、若者雇用の拡大、結婚・出産・子育てなど、人口減対策を重点に5カ年計画を作成することになっています。

町議会は、併せて地方創生調査特別委員会を設置しました。これ以上の町人口減を食い止めるために、町議会として有効な施策を提言ができるか問われています。

そこへTPP「大筋合意」の発表。5年を超える環太平洋経済連携協定（TPP）交渉が、土壇場で大筋合意しました。農産物重要5品目（米・麦・牛・豚肉・乳製品・砂糖）を守るとした国会決議。「聖域なき関税撤廃の交渉参加には反対」の公約を完全に破った政府。

南種子の農畜産業が衰退したら町の経済は、先が見えない。延いては、県、国の農業再生に何兆円必要でしょうか。

しかし、多様な価値を持っている農業を守るために、政府に財政措置を要求して行きましょう。

議会広報編集委員会